

今月の題字



熊野東中学校2年生
神鳥 日南さん

栄光
中村優那

熊野東中学校 1年 中村 優那さん



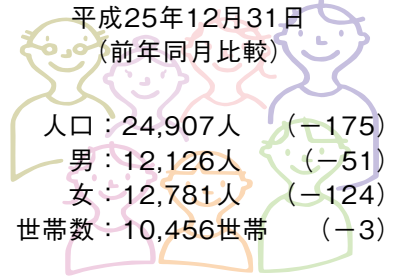
熊野東中学校 1年 加良 美智さん

【評】鉛筆を使った素描(デッサン)です。くつをとよく観察し形を正確にとらえ、立体感を出すために鉛筆の濃さを調整しながら明暗を表現しています。さらに布やビニールの質感の違いを丁寧に描きわけている完成度の高い作品です。

【評】伸びやかで、線質がとても美しい作品です。第十一回和洋女子競争大会で、審査員奨励賞を受賞しました。

町の人口と世帯数

平成25年12月31日
(前年同月比較)



(住民基本台帳)

熊野の自然 (293)

ヤマウルシ

(ウルシ科)



樹皮は、灰白色で縦に褐色の筋が入ります。あまり枝を分けず細かい枝がないことなど樹形も観察すれば、葉のない冬でもヤマウルシが分かります。

高さは3〜8m。直径は普通5〜10cmですが、町内の土岐城山で最大級の18.6cmを計測しています。

大きな奇数羽状複葉で、葉軸が赤みを帯びます。枝先に輪生状に互生し、傘状の姿になります。小葉はハゼノキなどに比べ丸みがあり、成木では普通鋸歯があります。

雌雄異株。5〜6月、黄色の小さな花が密集した花序が葉腋から下がります。果実は核果で扁球形、直径5〜6mm。外果皮に黄褐色の剛毛が密生しているの

で、無毛のウルシやハゼノキなどと区別できます。外果皮は剥れ易く、白いロウ質の中果皮が現われます。

熊野の地方名は「カブレノキ」。樹液に触れるとかぶれますが、近寄っただけでかぶれる人もあり、特に若葉の頃は注意が必要です。北海道から九州に分布し、町内の山でよく見かけます。ウルシの語源は「うるし(潤液)」「ぬるしる(塗液)」で、転訛してウルシになったと言われます。

漆は中国・ヒマラヤ原産で、漆を採るため植栽され野生化したものもあります。が、町内では見ていません。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

県内市町発!!

おすすめイベント

ピクニックアップ

100-1 選手権

県の観光キャンペーン「おいしい!広島県」の一環で、18市町が各市町の自慢のグルメを選出し、広島県内のご当地グルメのナンバーワンを人気投票で決める「100-1(おいしいわん)選手権」が開催されています。熊野町からは、「ふわふわ納豆焼」がエントリーしています。期間中は一日一回投票が可能で、投票すると、各施設などの特典が受けられるクーポン券がもらえます。温かい応援をよろしくお願いします。



時~2月28日(金)

HP詳しくは「おいしい!広島県」で検索。

(商工観光課)